

平成 20 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 アライドテレシスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 大 嶋 章 禎
(コード番号：6835 東証第 2 部)
問 合 せ 先 I R 部 原 洋 一
(TEL：03-5437-6007)
(URL <http://ir.at-global.com/>)

平成 19 年 12 月期業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

平成 19 年 9 月 14 日付「平成 19 年 12 月期 中間決算短信」中の [業績予想] において公表いたしました平成 19 年 12 月期 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日) の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期 連結業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	54,348	781	520	374
今 回 修 正 予 想 (B)	53,820	1,510	800	40
増 減 額 (B-A)	△528	729	280	△334
増 減 率 (%)	△1.0%	93.3%	53.8%	△89.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 12 月期)	52,729	△3,385	△3,345	△8,075

2. 平成 19 年 12 月期 個別業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,783	△737	△763	△384
今 回 修 正 予 想 (B)	6,870	△490	△230	0
増 減 額 (B-A)	87	247	533	384
増 減 率 (%)	1.3%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 12 月期)	7,192	△1,195	△518	△8,428

3. 業績予想修正の理由

①連結

当期の連結業績につきましては、下記の要因により前回予想を修正することといたしました。

(1) 営業利益について

製品原価の低減が順調に進んだことに加え、高い利益率の製品売上が好調だったことなどにより売上総利益が向上し、リストラクチャリングをはじめとした利益体質作りが実を結び、販売管理費の圧縮となり、大幅な増益を達成しました。その結果、営業利益は、第 3 四半期に引き続き黒字となり、前回予想よりも 7 億 29 百万円 (93.3%) 増加し、15 億 10 百万円となります。

(2) 経常利益について

下期の円高により増加した通期為替差損 2 億 46 百万円および支払利息 1 億 75 百万円の増加など営業外費用が発生しましたが、営業利益の増加が補う結果となり、経常利益は、前回予想よりも 2 億 80 百万円 (53.8%) 増加し、8 億円となります。

(3) 当期純利益について

第 4 四半期では、特別損失として子会社における固定資産の減損損失 37 百万円、リストラクチャリング実施による事業再編費 56 百万円を追加計上し、国内子会社の損害賠償訴訟への引当金 49 百万円、国外子会社の現地輸出入法令違反への引当金 56 百万円を計上いたしました。また、子会社の業績回復にともない、税負担が 4 億円増加しました。その結果、当期純利益は、前回予想よりも 3 億 34 百万円 (89.3%) 減少し、40 百万円となります。

②個別

営業利益は開発費の削減により 2 億円改善しました。経常利益は 3 億円の為替差損が発生しましたが、連結子会社の業績が下期改善したため、貸付金に対する貸倒引当金等の計上額 6 億円が、中間期末予想よりも少なくなると判断したため、上方修正することといたします。

以 上

(注) この資料に記載しております業績等の数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。